

もみじ太鼓

平成 28 年度 9月 27 日
京都市立高雄中学校 学校だより
なかま・夢・成長～夢を育む学び舎の創造～



前期学校評価

7月にはお忙しいなか、学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計とまとめができ上がりましたので、ご報告いたします。紙面の都合で、保護者アンケート集計のみ、裏面に掲載しましたので、合わせてごらんください。

○平成 28 年度 前期 学校評価まとめ (昨年度の同時期と比較しながら)

保護者アンケートより

※「ニーズ度」等の説明については裏面の保護者アンケート集計表の横をご覧ください。

・「学校からの情報」「学校生活」「学習評価」「学校での生活指導」「家庭との連携」では、多少実現度が低いものがあるものの、おおむね良好と言えます。昨年度と比較すると、生徒・保護者の入れ替わりもあるので一概には言いにくいのですが、全体的に改善傾向にあると言ってもいいと思います。

・ただ、6～10の教科指導等に関しては他に比べるとニーズ度が高いことがわかります。中でも、「10 家庭で自主的に学習するようになってきた」については最も高い(できていない)数値です。今年度は、昨年度の「ウイークエンドスタディ」に替わり、「積み上げ学習」として、五教科を毎日一教科ずつ、学習課題を課すことにしていますが、まだまだ自主的な学習の定着に至っていない、と判断できます。自由記述欄に「ウイークエンドスタディ」を復活させてほしい」との声もありましたので、これから検討していきたいと考えています。

生徒アンケートより

・ニーズ度から見ると、おおむね良好と評価されたと判断できます。昨年度と比較しても、「自分は美化活動や整理整頓を心がけている」以外は、すべて実現度が上昇し、ニーズ度が低下しており、改善できたと考えてよいと思います。特に「先生は教科学習の質問にわかりやすく答えてくれる」、「先輩は後輩を育てている」については、昨年よりも大幅に改善できています。

・ただ、改善されたとはいえ「先生は学習でも努力を適切に評価してくれる」の項目が他の項目に比べると、ニーズ度がやや高いので、学校として振り返り・見直しの必要があると考えます。

教職員アンケートより

・「教育目標」や「開かれた学校」では、いずれも昨年度に比べてニーズ度が低くなり、年々改善が進んでいます。特に「学校のような発信」では、ニーズ度が一桁となり、よく発信できていると考えます。

・逆に、「確かな学力」と「豊かな心」の項目ではニーズ度が高いものが目立ちます。特に、「豊かな心」の「生徒は進んであいさつ」「生徒は望ましい言葉遣い」「生徒は学校のきまりや約束を守って生活」については、昨年度よりニーズ度が上昇しています。生徒会の「あいさつ運動」や各授業中の発表活動等の取組を行っているにも関わらず、生徒たちの間になかなか浸透しきれていないことがわかり、いっそうの取組が必要だと思えます。また、「家庭での自主的に学習」はニーズ度が高く、これについてはウイークエンドスタディや積み重ね学習のあり方について検討の余地があると考えます。

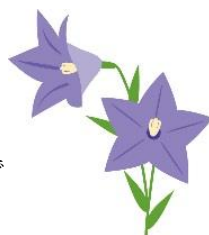
・昨年度と比較して「生徒は基礎基本の内容が定着してきていると思う」と「危険個所、危険物の点検・回収・整備に努めている」のニーズ度は大きく下がり、改善がすすんだと言えます。基礎基本の定着では、授業だけでなく、ウイークエンドスタディや積み重ね学習が功を奏してきた、と考えています。

総合的に

・三者のアンケートを通じて共通しているのは、「家庭での自主学習」のニーズ度が高いことです。昨年度から取り組んでいる「ウイークエンドスタディ」と今年度から始めた「積み上げ学習」を、生徒たちがどれだけ活用してきたか、活用しているか、が問われています。中には朝に登校してから、慌ててプリントをやっている生徒もいます。さすがに3年生は進路決定に向けて意識が高まってきているようですが、1・2年生にいかに関心・家庭学習の習慣を身に付けさせるか、家庭にとっても教職員にとっても大きな課題です。

・「正しい言葉遣い」や「すすんであいさつ」については、保護者・教職員のニーズ度は高く、生徒のニーズ度は低く、認識とのずれがあることがわかりました。学校生活・社会生活の、よりよい習慣を大切にしてほしいものです。

・保護者の自由記述欄で、「地域の方が、中学生がきちんと挨拶をしている、とほめて下さっている」という嬉しい記述がありました。また、「和太鼓部は地域内だけでなく、地域外へのアピールを増やしていくとよいと思う」とのお声をいただきま



した。9月4日(日)には、JR嵯峨嵐山駅前の全国手話研修センターで行われた、「京都さがの手話まつり」のオープニングで演奏をさせていただき、耳に障害のある方々にも身体で感じられる素晴らしい演奏でした、との評価をいただきました。また、「フレンドリー班の和太鼓演奏は、衣装や表現など各班の個性がもっと発揮できるような工夫ができませんか。太鼓以外の発表も生徒たちの発想で考えてみては？」とのお声もありました。今年度は難しいですが、来年度からの検討課題とさせていただきます。



・高雄中学校の少人数のメリットを活かしながら、教育活動に取り組んでいくことが我々教職員に求められてことと理解しています。保護者の皆さま・地域の皆さまのご協力をいただきながら、生徒たちの成長のために粉骨砕身し、見守り、励ましていきたいと考えています。これからも、どうぞよろしくお願い致します。(学校長)

平成28年度前期 高雄中学校 保護者アンケート 昨年度前期(7月)との比較		質 問 項 目		昨年度 前期 (7月)		今年度 前期 (7月)	
学 校 情 報	学 校 情 報			重要度	ニーズ度	重要度	ニーズ度
				実現度	実現度	実現度	実現度
1	学校の教育方針や教育活動等の情報が、学校により・学級により等や学校ホームページ等でわかる。			6.4	5.2	17.9	14.1
2	学校の様子や連絡が、子どもたちを通して、家庭に正しく伝わっている。			6.6	4.7	21.8	18.9
3	子どもたちは楽しく学校へ通っている。			6.9	5.3	18.6	16.8
4	学校は不審者や災害、通学路等に対して、安全対策を行っている。			6.9	5	20.7	16.6
5	学校では、美化活動や校内の整理整頓が心がけられている。			6.7	5.2	18.8	16.6
6	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。			6.6	4.1	25.7	22.1
7	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。			6.9	4.4	24.8	22.8
8	子ども一人一人が大切にされた授業が行われている。			6.8	4.5	23.8	21.5
9	子どもには、学校で学習してきたことが身についてきている。			6.8	4.3	25.2	21.4
10	子どもは、家庭で自主的に学習をするようになってきた。			6.8	3.9	27.9	23.5
11	学校は、生徒の学力を適切に評価している。			7	5.1	20.3	17.3
12	学校は、生徒の学習面での努力を適切に評価している。			7	5.1	20.3	16.3
13	観点別評価や評定は、学習目標がどのくらい達成できているかを表しているものであることがわかる。			6.8	5.1	19.7	19
14	学校は子どものよいところを認め、適切に評価している。			7	5.3	18.9	15.6
15	学校は子どもの間違った行動を適切に注意している。			6.8	4.9	21.1	18.1
16	学校は学校生活のきまりや約束を守るように指導している。			6.7	5	20.1	18.1
17	学校は、親身になって子どもの相談に応じている。			6.8	4.8	21.8	18.1
18	学校は、親身に、親身になって保護者の相談に適切に対応し、相互の信頼関係づくりに向け努力している。			6.6	4.8	21.1	17.8
19	子どもは、学級やフレンドリー活動を通して、信頼関係や役割分担の大切さなど社会性が身についてきた。			6.7	5	20.1	15
20	子どもは、挨拶や正しい言葉遣いが身についてきている。			6.6	4.6	22.4	19.4
21	家庭は子育ての役割を果たし、学校に協力している。			6.8	4.8	21.8	18.2
22	学校・家庭・地域が協働し、子どもたちの教育にあたっている。			6.5	5.2	18.2	15.8
○ 重要度・実現度は、アンケートの四択の(とても、やや、あまり、ない)を(7・5・3・1)で数値化し、平均値を求めたものです。							
○ ニーズ度は右の式で求めたものです。【 ニーズ度 = 重要度 × (8 - 実現度) 】 よく実現できていれば、ニーズ度は小さくなります。							